

作成日 平成 5年 6月 14日
改定日 平成 29年 3月 15日

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品名	デゾレート AZ 粉剤
会社名	日本カーリット株式会社
住所	〒377-0004 群馬県渋川市半田 2470
発行部門	生産管理部 環境安全品質保証グループ
電話番号	0279-23-8812
FAX 番号	0279-23-8834
緊急連絡先	同上
整理番号	A-1030
推奨用途および 使用上の制限	農薬 (除草剤)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	区分2
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分5
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外
オゾン層への有害性	分類できない

上記に記載がない危険有害性項目は分類対象外。

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報	火災助長のおそれ：酸化性物質 皮膚に接触すると有害のおそれ
注意書き	[安全対策] 熱から遠ざけること。 衣類／可燃物から遠ざけること。 可燃物と混合を回避するために予防策を取ること。 保護手袋／保護衣／保護面／保護眼鏡を着用すること。 [応急措置] ◆ 火災の場合：消火に適切な消火剤を使用すること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。 [保管] 直射日光を避け、密栓した後、冷暗所に施錠して保管すること。 [廃棄] 内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成および成分情報

単一化学品・混合物の区分	混合物		
化学名または一般名	塩素酸ナトリウム	硫酸マグネシウム	鉱物質等 (非晶質シリカとして 5%未満含有)
別名			
含有率	50%	30%	20%
化学式または構造式	NaClO ₃	MgSO ₄	—
官報公示整理番号	(化)1-239 (安)公表	(化)1-467 (安)公表	—
CAS No.	7775-09-9	10034-99-8(七水和物) 7487-88-9	—

4. 応急措置

飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせない。気分が悪い時は、医師に連絡する。
皮膚に付いた場合	多量の水と石鹸で洗う。気分が悪い時は、医師に連絡する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して、その後も洗浄を続ける。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。
急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候および症状	—
応急措置をする者の保護	—
医師に対する特別な注意事項	—

5. 火災時の措置

消火剤	水、強化液、泡、消火粉末(りん酸塩類等)
使ってはならない消火剤	—
火災時の措置に関する特有の	加熱により容器が爆発するおそれがある。

危険有害性	火災によって刺激性または毒性のガスおよびヒュームが発生するおそれがある。
特有の消火方法	火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取除く。 関係者以外は安全な場所に退去させ、立入りを禁止する。 周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。 水を噴霧して容器類を冷却する時に、この物質に直接かからないようにする。 消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。
消火を行なう者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具および緊急時措置	周囲のすべての着火源を取除く。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入、誤飲を避ける。
環境に対する注意事項	除草剤として植物に対して無選択に作用して植物を枯らすので、除草目的以外に土壌などに散布してはならない。
回収、中和ならびに封じ込めおよび浄化の方法・機材 二次災害の防止策	飛散したものを掃き集めて、空容器に回収する。また水洗できる場所では、大量の水で洗い流す。 —

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 技術的対策 (局所排気・全体換気)	熱から遠ざける。 可燃物と混合を回避するために予防策を取る。 不浸透性保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡等の適切な保護具を着用し、粉じんを吸い込んだり、眼や皮膚、衣類に触れたりしないようにする。 取扱い後は、手、顔などをよく洗う。 取扱いは、局所排気内、または全体換気の設備のある場所で行う。
安全取扱注意事項	取扱いは換気の良い場所で行い、粉じんが飛散しないよう注意し、みだりに蒸気やガスを発生させない。 使用前に取扱説明書を入手し、すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わない。
接触回避 衛生対策 保管	— —
安全な保管条件	直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。 消防法の危険物(塩素酸塩類)に該当するので、可燃物と同一場所に貯蔵しない。 火気厳禁の標識を立てる。 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざける。 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、はりを不燃材で作る。
安全な容器包装材料	ポリエチレン袋、他

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会(2011)	設定されていない
ACGIH(2006)	設定されていない
設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚および身体の保護具	静電気防止加工長袖作業衣

9. 物理的および化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）	類白色細粒
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	248°C(原体)
沸点、初留点および沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性	データなし
燃焼または爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
溶解度	101g/100g H ₂ O(20°C)(原体)
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	約 300°C
粘度(粘性率)	データなし
その他のデータ	データなし

10. 安定性および反応性

反応性/化学的安定性	常温常圧で安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	火気、衝撃および可燃物との接触
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素等の有毒ガスが発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口：塩素酸ナトリウム：ラット LD ₅₀ ♂♀ > 5000mg/kg(区分外)。 1) 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：ラットの LD50 値として、> 5,000 mg/kg (沈降シリカ)
------	--

	(Tixosil 53)) 及び> 5,110 mg/kg (沈降シリカ (Sident9)) との報告 (SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006)) に基づき、区分外。 ¹⁾ 以上のデータより、区分外。
	経皮：塩素酸ナトリウム：ラット LD ₅₀ ♂♀ > 2000mg/kg(区分 5) ¹⁾ 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：ウサギの LD50 値として、> 2,000 mg/kg (シリカゲル (Syloid 244)) (区分 5)。 ¹⁾ 加算式より、区分 5。
	吸入：塩素酸ナトリウム：雌雄ともラット LC50 > 5 mg/L であるため (農薬登録申請資料、1990)。 ¹⁾ 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：データ不足のため、分類できない。 ¹⁾ 以上より、分類できない。
皮膚腐食性および皮膚刺激性	塩素酸ナトリウム：データなし。 ¹⁾ 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (OECD TG 404) において、沈降シリカ (Sident9) を適用した結果、刺激性はみられなかったとの報告 (SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006)) や、沈降シリカ (SIPERNAT) をウサギに 24 時間適用した試験において、いずれも刺激性はみられなかったとの報告がある (SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006))。以上から、区分外。 ¹⁾ 以上より、分類できない
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	塩素酸ナトリウム：データなし。 ¹⁾ 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405) において、沈降シリカ (Sident9) を適用した結果、軽度の結膜発赤がみられたが回復性を示したとの報告がある (SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006))。また、沈降シリカをウサギに適用した試験の報告が複数あり、眼刺激性はみられなかったとの報告や、軽度の結膜刺激がみられたが回復したとの報告がある (SIDS (2006))。以上から、区分 2B。 ¹⁾ 以上より、分類できない。
呼吸器感作性または皮膚感作性	データなし(分類できない)
生殖細胞変異原性(変異原性)	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性、単回ばく露	塩素酸ナトリウム：データなし。 ¹⁾ 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：シリカゲル (Syloid 244) は気道刺激性があるとの報告 (SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006)) から、区分 3 (気道刺激性)。 ¹⁾ 以上より、分類できない。
特定標的臓器毒性、反復ばく露 吸引性呼吸器有害性	分類できない データなし(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性(急性) 塩素酸ナトリウム：甲殻類(オジシロ)の 48 時間 EC50 > 100mg/L(農薬登録申請資料、2004)から、区分外。 ¹⁾ 硫酸マグネシウム：データなし。 シリカ：甲殻類(オジシロ)24 時間 EC50 > 10000 mg/L、魚類(ゼブラ
------	---

	フィッシュ)96 時間 LC50 = 10000 mg/L(いずれも SIDS, 2006)であることから、区分外 ¹⁾
	以上のデータより、区分外。
	水生環境有害性(慢性)
	塩素酸ナトリウム：難水溶性でなく(水溶解度=1.00 × 105mg/L(PHYSPROP Database、2005))、急性毒性が低いことから、区分外。 ¹⁾
	硫酸マグネシウム：データなし。
	シカ：分類できない。 ¹⁾
	以上のデータより、区分外。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし(分類できない)

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 (残余廃棄物、汚染容器 および包装)	内容物や容器を、都道府県知事等の許可を得た専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
-------------------------------	---

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	UN1495
品名(国連輸送名)	塩素酸ナトリウム
国連分類	クラス 5.1(酸化性物質)
容器等級	II
IMDG	5.1
海洋汚染物質	—
MARPOL	—
国内規制	
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	積み下ろし時の衝撃および火気に注意する。 消防法に定められている運送方法に従う。 消防法危険物第2～5類物質(木炭、硫黄、金属粉等)と混載しない。 「危険物」の標識を掲げる。 容器を損傷しないよう取扱いは丁寧にする。輸送中の転落、転倒防止処置をとる。
応急措置指針番号	140

15. 適用法令

農薬取締法令	農林水産省登録 第 7388 号
消防法	危険物第 1 類 塩素酸塩類含有物 第 1 種酸化性固体 (50kg)
毒物劇物取締法	発火性又は爆発性のある劇物(法第 3 条の 4、施行令第 32 条の 3)【塩素酸塩類及びこれを含有する製剤(塩素酸塩類 35%以上を含有するものに限る。)】
化審法	対象外(農薬取締法対象のため)(法第 55 条)
労働安全衛生法	危険物・酸化性の物(施行令別表第 1 第 3 号)(塩素酸ナトリウム) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9 312 シリカ) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施

大気汚染防止法	行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9 312 シリカ
水質汚濁防止法	非該当
土壌汚染対策法	指定物質(51 塩素酸及びその塩)(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3) (塩素酸トリウム)
船舶安全法	—
港則法	酸化性物質類・酸化性物質(危規則第 3 条危険物告示別表第 1) その他の危険物・酸化性物質類(酸化性物質)(法第 21 条第 2 項、規則第 12 条、危険物の種類を定める告示別表)
海洋汚染防止法	非該当
航空法	酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)
道路法	車両の通行制限(施行令第 19 条の 13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第 7 号別表第 2)
化学物質管理促進法(PRTR)	非該当

16. その他の情報

引用文献	1) NITE 化学物質総合情報提供システム
記載内容の問い合わせ先	○全般的な窓口 日本カーリット株式会社 化成品部 TEL 03-6685-2045 FAX 03-6685-2050
	○技術的な内容について 日本カーリット株式会社 群馬工場技術グループ TEL 0279-23-8896 FAX 0279-23-8480
	○法令・規制等について 日本カーリット株式会社 生産管理部 環境安全品質保証グループ TEL 0279-23-8812 FAX 0279-23-8834
記載内容の取扱い	この安全データシート(SDS)は、JIS Z 7253:2012 に従って作成しています。なお、記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成してありますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。